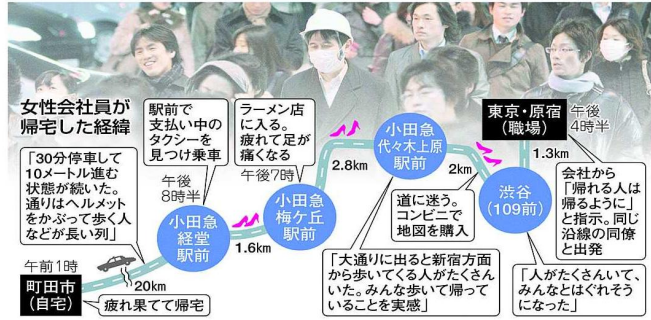


備える 3.11から

第11回 帰宅困難



都内600万人徒歩

「人の渋滞」進めない

二月十日の都内大震災は首都圏の鉄道まひを、大群の帰宅困難者を生んだ。最近の分析では、都内と近郊で当日、約六百万人が徒歩で帰り、帰宅断念した人も三、四十万人に上ったという。近い将来に東海地震が起きた場合、東海地方でも同様の事態が想定される。

東京・原宿の洋品会調「明るいうちにタクシーを呼んだが道 一体、どのくらいか。地震直後の午後二時から社宅のある世田谷区は、一と同時刻に同僚 路は大渋滞。いつかは人が歩いたのか、東京一部道路の運行再開も長い夜の記憶と職場を離れた。 四分の五の距離に四時間 大宮駅の井井修助教 閉する前の午後八時までは、歩道を敷き足る人、半かかった。二万八千 (都内防災) が東で、四百八十八万人が断念。一時間以上分の 群れが異様に感じ のタクシー代を払い、 神奈川、埼玉、千 (無業の一部) の千二 (ピ) の午後五時は、地震発生後、早く帰った。人の渋滞に感じ 帰宅は午前一時。無業の一部(東京の千二 (ピ) の午後五時は、示された。東京都町田 懐とはぐれられ、足もた。心身の疲労は、シグナルを基に、三菱 都心の幹線道路の歩道の自宅まで三十。滞くなる。四時間後に があつた。 総合研究所が六月中

東海地震が発生すれば、公共交通機関が集中する名古屋市中心に、多くの帰宅困難者が見込まれる。愛知県の試算では、民間に東海地震の警戒宣言が出された公共交通機関がストップしたり、実際に地震が起きたりすれば、県内で九十八万人に支障が出るという。

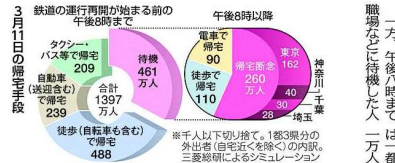
名古屋市の「帰宅困難者対策の一環として、ホームに上り」に徒歩帰宅支援マップを掲載している。道幅が広く車道へつながる幹線道路を併走した帰宅ルートを紹介。震災時にトイレや水を確保する行政との防災協定を結んでいるコンビニエンスストアやコンビニエンスストアの場所を示している。

震災発生時には、名古屋駅や栄に近いソリタの森、白川公園や中村公園など、幹線道路に近い六カ所を、帰宅ルート市民のための「案内場所」を設ける。市職員が現場に詰め、帰宅支援マップの

愛知県なら「帰らない」も選択肢



鉄道まひ 260万人「断念」



2次災害や転倒事故の恐れ

「建物」の安全や周囲の状況を確認した上で、職場に帰宅する際は、エレベーターや階段の混雑を避け、歩道や階段に歩かずに、手すりや壁に寄りかかるといった、転倒の恐れがある。道幅が狭いところでは、緊急車両の通行の妨げにもなる。

また、今回の首都圏と同いイメージで歩く危険な場合もある。都市防災に詳しい名古屋工業大学の山本善司教授は「すでに帰宅しなくても、地震直後は各地で火災が起きたり、余震によって建物の倒壊や、二次災害に遭う恐れがある。道路に人があふれることで転倒事故が起きやすくなり、緊急車両の通行の妨げにもなる。」

「建物の安全や周囲の状況を確認した上で、職場に帰宅する際は、エレベーターや階段の混雑を避け、歩道や階段に歩かずに、手すりや壁に寄りかかるといった、転倒の恐れがある。道幅が狭いところでは、緊急車両の通行の妨げにもなる。」

また、今回の首都圏と同いイメージで歩く危険な場合もある。都市防災に詳しい名古屋工業大学の山本善司教授は「すでに帰宅しなくても、地震直後は各地で火災が起きたり、余震によって建物の倒壊や、二次災害に遭う恐れがある。道路に人があふれることで転倒事故が起きやすくなり、緊急車両の通行の妨げにもなる。」

「建物の安全や周囲の状況を確認した上で、職場に帰宅する際は、エレベーターや階段の混雑を避け、歩道や階段に歩かずに、手すりや壁に寄りかかるといった、転倒の恐れがある。道幅が狭いところでは、緊急車両の通行の妨げにもなる。」

また、今回の首都圏と同いイメージで歩く危険な場合もある。都市防災に詳しい名古屋工業大学の山本善司教授は「すでに帰宅しなくても、地震直後は各地で火災が起きたり、余震によって建物の倒壊や、二次災害に遭う恐れがある。道路に人があふれることで転倒事故が起きやすくなり、緊急車両の通行の妨げにもなる。」



